TASCAM

D01207100A

TM-2X
STEREO PLUG-IN MICROPHONE

取扱説明書

このたびは、TASCAM TM-2X ／ STEREO PLUG-IN MICROPHONEをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
注意	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
禁止	**この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない** 火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。 **この機器を改造しない** 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。 **ステレオミニプラグを抜くときは、マイクケーブルを引っ張らない** ケーブルが傷つき、破損の原因となることがあります。 必ずステレオミニプラグを持って抜いてください。

その他の注意

- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
- 本機を水に濡らさないでください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、お使いください。

本機の概要

- 本機は、プラグインパワー方式のステレオマイクです。
- TASCAM リニアPCMレコーダーでも採用しているX-Y方式のステレオマイク録音により、位相差を抑えたクリアなステレオ感のある録音ができます。
- 角度調整可能な高感度指向性コンデンサーマイクを使用し、高音質な音声を記録できます。
- マイク入力時に入りやすい空調機の音や風の音などの低域ノイズを低減するローカットフィルターや、マイク感度切り換えなどの機能により最適な録音ができます。
- タッチノイズを軽減するフローティング機構を採用し、オートフォーカス・手振れ補正動作時などのメカ音などを低減します。
- デジタルカメラのアクセサリーシュー（ISO/JIS規格準拠）に直接取り付けることが可能なほか、取り付け足底面にあるカメラネジにより三脚やスタンドへの固定も可能です。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- TM-2X本体　x1
- ファーウィンドスクリーン　x1
- ノイズアイソレーションアーム　x1
- 取扱説明書（本書）　x1
- 保証書　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機に接続する対象機種（カメラや録音機器など）について、「接続機器」と表記します
- 本機および外部機器のスイッチ／端子などを「**LOW CUT**スイッチ」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「メモ」、「注意」として記載します。

メモ
補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意
指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

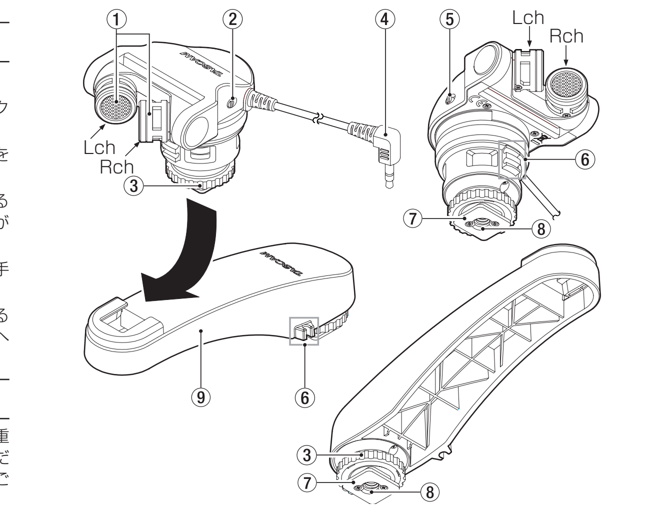
商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

各部の名称



① **ステレオマイク（Lch ／ Rch）**
エレクトレットコンデンサータイプでX-Y方式の単一指向性ステレオマイクです。内蔵マイクの角度を変えることができます。
② **SENS L ／ Hスイッチ（マイク感度切り換え）**
③ **取り付け脚ロックナット**
④ **ケーブル／ステレオミニプラグ（Φ3.5mm）**
⑤ **ローカットフィルター切り換えスイッチ（FLAT ／ LOW CUT）**
ローカットフィルターを使うと空調機の音や屋外録音時の風の音・振動などの低域ノイズを低減することができます。
⑥ **コードホルダー**
⑦ **取り付け脚**
⑧ **三脚取り付け用穴（1/4インチ）**
⑨ **ノイズアイソレーションアーム**
付属するノイズアイソレーションアームを使ってマイクを取り付けた場合には、カメラのオートフォーカスや手振れ補正などのモーター音を低減できます。

取り付け方法

注意
- 本機およびノイズアイソレーションアームを持って接続機器を持ち上げないでください。無理な負荷がかかった場合は、本機または接続機器を破損するおそれがあります。
- 使用時以外は、本機を接続機器から外して保管してください。接続したままで無理な負荷がかかった場合は、本機または接続機器を破損するおそれがあります。

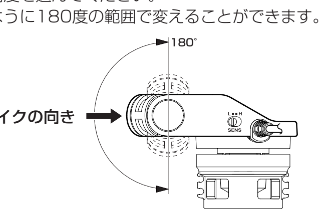
1. カメラのアクセサリーシュー部分に、本体の⑦取り付け脚をスライドして取り付けた後、ナットを回してロックします。録音機器などアクセサリーシューが無いものに三脚を使用するときは、三脚ネジ穴部を三脚のネジ（オス）側に合わせて固定してください。
2. 本体から出ているマイクケーブルのステレオミニプラグを、接続機器のマイク入力端子へ接続します。

使用方法

必要に応じて下記の設定を行い、ご使用ください。

内蔵マイクの角度を調整する

内蔵マイクの角度を変えることができます。録音時の本機の設置方法と音源の位置に応じて、最適な角度を選んでください。
角度調整は、以下のように180度の範囲で変えることができます。



マイクの感度を切り換える

通常は、本機の②**SENS L** ／ **H**スイッチを「**H**」に設定し、接続機器の入力感度を最適なレベルに調節してご使用ください。
入力音が歪む場合は、本機の感度を「**L**」に切り換えてご使用ください。それでも歪む場合には、本機を音源から離してください。

メモ
接続機器の入力仕様により本機の最大入力音圧特性が変わります。本機の入力特性を最大限活かすためにも、上記の手順で感度を切り換えてください。
②**SENS L** ／ **H**スイッチを「**H**」に設定して入力音が歪む場合に接続機器側でレベル調節をしないまま「**L**」に切り換えると、入力音が非常に小さくなる場合があります。

ローカットフィルターを使う

ローカットフィルターを使う場合は、本機の横にある⑤ローカットフィルター切り換えスイッチを「**LOW CUT**」にしてください。

メモ
接続機器の入力仕様に依存するため、入力仕様が変わるとローカットフィルターの特性が変わる場合があります。

ファーウィンドスクリーンを使う

付属のファーウィンドスクリーンをマイクに被せると、風や息などが直接マイクに当たることによって生じるノイズを低減できます。

注意
- 録音中に本機に触れるとノイズが録音される場合があります。
- 動画撮影中は、カメラやレンズの作動音や操作音などが録音される場合があります。
- 強い電波や磁気を発生する電波塔などの周囲では、正常に機能しない場合があります。
- ローカットフィルターの切り換え時、マイク感度の切り換え時やマイクの向きを変える場合は、必ず本機をしっかりと押さえながら行ってください。取り付け脚部に強い力が加わり、本体を破損するおそれがあります。

仕様

定格

マイク指向性　：単一指向性
周波数帯域　：50 ～ 20,000Hz

入出力定格

最大入力レベル　：120dB SPL
（1kHzにて、感度：SENS H、FLAT、*1）
出力インピーダンス　：1.6kΩ（*1）
S/N比　：74dB Typ（*1）
マイク感度切り換え　：SENS H=-37dB、SENS L=-52dB
（1kHzにて、0dB=1V/Pa、*1）
＊1（RL：2.2kΩ、Vcc：2.5V）

接続ケーブル／プラグ

ケーブル長　：33cm
プラグ　：3.5mm（1/8'）TRSステレオミニプラグ
（Tip：Lch、Ring：Rch、Sleeve：GND）

一般

電源　：プラグインパワー方式（JEITA規格 CP-1203A）
外形寸法　：TM-2X本体=57 x 59 x 69mm
（幅 x 高さ x 奥行き、ケーブルおよびコネクターを含まず）
ノイズアイソレーションアーム=34 x 57 x 142mm
（幅 x 高さ x 奥行き）
質量　：TM-2X本体=75g、ノイズアイソレーションアーム=41g
動作温度　：-5 ～ 45℃

アフターサービス

- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 型名、型番（TM-2X）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- 当社の責に帰すべき本製品の不具合もしくは故障などに係り、当社が負う責任の範囲は、当社製品の修理もしくは交換に限らせていただきます。
- 当社は、本機の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00です。

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30 ～ 17:00です。

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

TASCAM

TM-2X
STEREO PLUG-IN MICROPHONE

OWNER'S MANUAL

Thank you for your purchase of the TASCAM TM-2X Stereo Plug-in Microphone.
Before connecting and using the unit, please take time to read this manual thoroughly to ensure you understand how to properly set up and connect the unit, as well as the operation of its many useful and convenient functions. After you have finished reading this manual, please keep it in a safe place for future reference.
You can also download the Owner's Manual from the TASCAM web site (http://tascam.com/ or http://tascam.eu/ for Europe).

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

1 Read these instructions.
2 Keep these instructions.
3 Heed all warnings.
4 Follow all instructions.
5 Do not use this apparatus near water.
6 Clean only with dry cloth.
7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.

13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

- Do not expose this apparatus to drips or splashes.
- Do not place any objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Do not install this apparatus in a confined space such as a book case or similar unit.
- The apparatus draws nominal non-operating power from the AC outlet with its POWER or STANDBY/ON switch not in the ON position.
- The apparatus should be located close enough to the AC outlet so that you can easily grasp the power cord plug at any time.
- The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
- If the product uses batteries (including a battery pack or installed batteries), they should not be exposed to sunshine, fire or excessive heat.
- CAUTION for products that use replaceable lithium batteries: there is danger of explosion if a battery is replaced with an incorrect type of battery. Replace only with the same or equivalent type.

Other cautions

- Do not install in the following types of places. Doing so could cause malfunctions.
  - Places with significant vibrations or that are otherwise unstable
  - Near windows or other places exposed to direct sunlight
  - Near heaters or other extremely hot places
  - Extremely cold places
  - Places with bad ventilation or high humidity
  - Very dusty locations
- Avoid installing this unit on top of any heat-generating electrical device such as a power amplifier.
- Do not let the unit become wet.
- If the unit is moved from a cold to a warm place, or used after a sudden temperature change, there is a danger of condensation; vapor in the air could condense on the internal mechanism, making correct operation impossible. To prevent this, or if this occurs, let the unit sit for one or two hours at the new room temperature before using.
- If you are experiencing problems with this product, contact TEAC for a service referral. Do not use the product until it has been repaired.

■ For European Customers

Disposal of electrical and electronic equipment

(a) All electrical and electronic equipment should be disposed of separately from the municipal waste stream via collection facilities designated by the government or local authorities.
(b) By disposing of electrical and electronic equipment correctly, you will help save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment.
(c) Improper disposal of waste electrical and electronic equipment can have serious effects on the environment and human health because of the presence of hazardous substances in the equipment.
(d) The Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) symbol, which shows a wheeled bin that has been crossed out, indicates that electrical and electronic equipment must be collected and disposed of separately from household waste.

(e) Return and collection systems are available to end users. For more detailed information about the disposal of old electrical and electronic equipment, please contact your city office, waste disposal service or the shop where you purchased the equipment.

■ For China

产品有毒有害物质或元素的名称及含量

	机种：TM-2X	有毒有害物质或元素					
	品名	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
1	CHASSIS 部份	×	○	○	○	○	○
2	PCB Assy 部份	×	○	○	○	○	○
3	线材部份	○	○	○	○	○	○
4	附属品部份	○	○	○	○	○	○
5	SEAL 部份	○	○	○	○	○	○
6	包装部份	○	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含有量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。
（针对现在代替技术困难的电子部品及合金中的铅）

Overview of features

- This unit is a stereo microphone that runs on plug-in power.
- Using a stereo microphone pair in an X-Y arrangement, which is the same as used by many TASCAM linear PCM recorders, you can make recordings with clear stereo definition and minimal phase differences.
- The high-sensitivity directional condenser microphone capsules, which can have their angles adjusted, enable high-quality audio recording.
- Functions that enable optimal recording include a low-cut filter that reduces the low-frequency noise of air-conditioning, wind and other sounds that are easily captured during microphone input and a microphone sensitivity switch.
- A floating construction is used to reduce noise caused by contact. This also reduces mechanical noises such as those caused by the operation of autofocus and automatic image stabilization.
- In addition to being directly attachable to a digital camera accessory shoe (that meets ISO/JIS standards), a camera screw on the bottom of the attachment foot can also be used to fix the unit on a tripod or stand.

Included items

This product includes the following components. Open the package carefully to prevent damage to the main unit. Keep the box and other packing materials for transport in the future. If any of the included parts are missing or appear to have been damaged during shipping, please contact TASCAM.

- TM-2X 1
- Furry windscreen 1
- Noise isolation arm 1
- Warranty card 1
- Owner's manual (this manual) 1

Conventions used in this manual

In this manual, we use the following conventions:

- The camera, recorder or other equipment to which this unit is connected is called the "connected device".
- Buttons, jacks and other parts of this unit and other equipment are indicated in a bold font like this: **LOW CUT**.
- Additional information is provided as necessary as notes and cautions.

NOTE
These provide additional explanations and describe special cases.

CAUTION
Failure to follow these instructions could result in injury, damage to equipment or lost recording data, for example.

Cleaning the unit

Use a soft dry cloth to wipe the unit clean. Do not use chemically-treated cleaning cloths, thinner, alcohol or similar substances to wipe the unit. Doing so could damage the surface or cause discoloration.

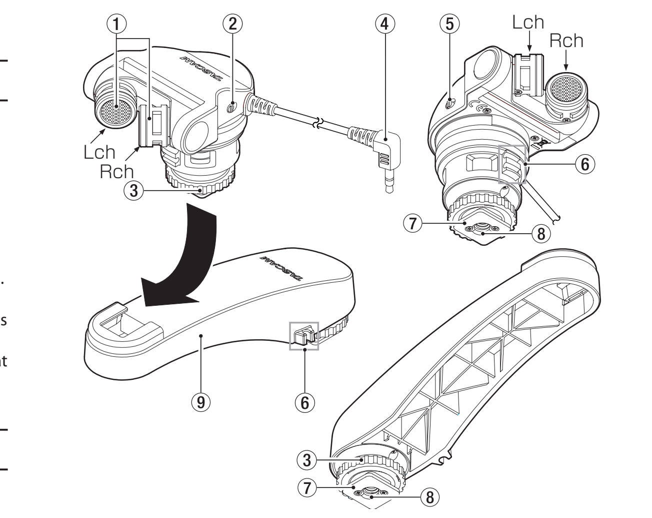
Trademarks

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

User registration

Customers in the USA, please visit the TASCAM website (http://tascam.com/) to register as a user online.

Names and function of parts



① **Stereo mic pair (L/R)**
This stereo pair of directional electret condenser microphones is arranged in an X-Y pattern. You can change the orientation of these built in microphones.
② **SENS L/H (mic sensitivity) switch**
③ **Attachment foot locknut**
④ **Cable and stereo mini plug (Φ3.5mm)**
⑤ **Low-cut filter switch (FLAT/LOW CUT)**
By using the low-cut filter, you can reduce low-frequency noise from air conditioning, wind during outdoor recording, vibrations and other sources.
⑥ **Cord holder**
⑦ **Attachment foot**
⑧ **Tripod mounting threads (1/4-inch)**
⑨ **Noise isolation arm**
By using the included Noise isolation arm to attach the mic, you can reduce the recording of camera motor noise from autofocus, automatic image stabilization and other operations.

Attaching the unit

CAUTION
- ***Never lift the connected device by holding this unit or the noise isolation arm. Application of excessive load could damage this unit or the connected device.***
- ***When not in use, disconnect this unit from the connected device and store it. Application of excessive load while connected could damage to this unit or the connected device.***

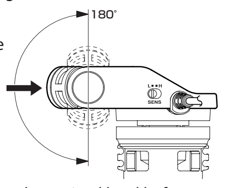
1. After sliding the ⑦ **Attachment foot** of this unit into the camera accessory shoe to attach it, turn the nut to lock it in place. When using a tripod with a recorder or other device that does not have an accessory shoe, align the tripod mounting threads with the tripod screw and fix it in place.
2. Connect the stereo mini plug of the mic cable built into this unit to the mic input jack of the connected device.

Using the unit

Make the following settings as necessary before using the unit.

Adjusting the built-in mic angle

You can adjust the angle of the built-in mics. Choose the optimal angle according to how this unit is installed and the position of the sound source.
The range of mic angle adjustment is 180º as shown on the right.



Set the mic sensitivity

Ordinarily, set the ② **SENS L/H switch** to **H** and adjust the input sensitivity of the connected device to the optimal level before using the unit. If the input sound distorts, set the sensitivity of this unit to **L**. If distortion continues even after doing this, move the unit further away from the sound source.

NOTE
*Depending on the input specifications of the connected device, the maximum input sound pressure characteristics of this unit change. In order to maximize the use of the input characteristics of this unit, follow the procedures above to set the sensitivity. If the sound distorts when the ② **SENS L/H switch** is set to **H**, changing the setting to **L** before adjusting the level on the connected device could cause the input level to become extremely low.*

Using the low-cut filter

To use the low-cut filter, set the ⑤ **Low-cut filter switch** on the side of the unit to **LOW CUT**.

NOTE
Since the effect of the low-cut filter is dependent on the input specifications of the connected device, it will change if the input specifications change.

Using the furry windscreen

By covering the mic with the included furry windscreen, noise caused by wind, breath and other direct air contact with the mic can be reduced.

CAUTION
- ***Touching this unit during recording could cause noise to be recorded.***
- ***When recording video, the sounds of cameras and lenses moving and being operated, for example, could be recorded.***
- ***This unit might not function properly near radio and television transmission towers and other equipment that generates strong electromagnetic waves or magnetism.***
- ***Always hold this unit firmly in place when adjusting the low-cut filter switch, mic sensitivity switch or mic angle. Failure to do so could result in excessive force being applied to the attachment foot and damaging the unit.***

Specifications

■ Microphone

Microphone type: cardioid
Frequency range: 50 Hz – 20 kHz

■ Input and output

Maximum input level:	120dB SPL (at 1 kHz with sensitivity set to H and low-cut filter set to FLAT)*
Output impedance:	1.6 kΩ*
S/N ratio:	74dB typical*
Mic sensitivity (SENS) switch:	H = –37 dB, L = –52 dB (at 1 kHz, 0 dB = 1 V/Pa)*

*RL: 2.2 kΩ, Vcc: 2.5 V

■ Connection cable/plug

Cable length:	33 cm (13 in.)
Plug:	3.5 mm (1/8 in.) TRS stereo mini plug (Tip: left channel, ring: right channel, sleeve: ground)

■ General

Power:	Plug-in power (JEITA standard CP-1203A)
Outer dimensions (width × height × depth):	TM-2X unit: 57 × 59 × 69 (mm) 2.24 × 2.36 × 2.71 (in.) (excluding cable and connector) Noise isolation arm: 34 × 57 × 142 (mm) 1.33 × 2.26 × 5.60 (in.)
Weight:	TM-2X unit = 75 g (2.65 oz) Noise isolation arm = 41 g (1.45 oz)
Operating temperature:	–5 to 45°C/23 to 113°F

TEAC CORPORATION http://tascam.jp/
Phone: +81-42-356-9143
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo 206-8530 Japan

TEAC AMERICA, INC. http://tascam.com/
Phone: +1-323-726-0303
7733 Telegraph Road, Montebello, California 90640 USA

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. http://teacmexico.net/
Phone: +52-55-5010-6000
Río Churubusco 364, Colonia Del Carmen, Delegación Coyoacán, CP 04100, México DF, México

TEAC UK LIMITED http://tascam.eu/
Phone: +44-8451-302511
Meridien House, Ground Floor,69 - 71, Clarendon Road, Watford, Hertfordshire, WD17 1DS, UK

TEAC EUROPE GmbH http://tascam.eu/
Phone: +49-611-71580
Bahnstrasse 12, 65205 Wiesbaden-Erbenheim, Germany

TEAC SALES & TRADING(SHENZHEN) CO., LTD
Phone: +86-755-88311561~2
Room 817, Block A, Hailrun Complex, 6021 Shennan Blvd., Futian District, Shenzhen 518040, China

TASCAM

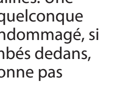
TM-2X
MICROPHONE STÉRÉO À ALIMENTATION PIP

MODE D'EMPLOI

Merci d'avoir acheté le microphone stéréo à alimentation PIP TASCAM.
Avant de connecter et d'utiliser l'unité, veuillez prendre le temps de lire ce mode d'emploi en totalité pour vous assurer une bonne compréhension de sa mise en service et de son branchement, ainsi que du mode opératoire de ses nombreuses fonctions utiles et pratiques. Une fois la lecture de ce mode d'emploi terminée, veillez à le conserver en lieu sûr pour référence ultérieure.
Vous pouvez aussi télécharger le mode d'emploi depuis le site internet TASCAM (http://www.tascam.eu/).

INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES

1 Lisez ces instructions.
2 Conservez ces instructions.
3 Tenez compte de tous les avertissements.
4 Suivez toutes les instructions.
5 N'utilisez pas cet appareil avec de l'eau à proximité.
6 Ne nettoyez l'appareil qu'avec un chiffon sec.
7 Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Installez-le conformément aux instructions du fabricant.
8 N'installez pas l'appareil près de sources de chaleur telles que des radiateurs, bouches de chauffage, poêles ou autres appareils (y compris des amplificateurs) produisant de la chaleur.
9 Ne neutralisez pas la fonction de sécurité de la fiche polarisée ou de terre. Une fiche polarisée a deux broches, l'une plus large que l'autre. Une fiche de terre a deux broches identiques et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche plus large ou la troisième broche servent à votre sécurité. Si la fiche fournie n'entre pas dans votre prise, consultez un électricien pour le remplacement de la prise obsolète.
10 Évitez de marcher sur le cordon d'alimentation et de le pincer, en particulier au niveau des fiches, des prises secteur, et du point de sortie de l'appareil.
11 N'utilisez que des fixations/accessoires spécifiés par le fabricant.
12 Utilisez-le uniquement avec des chariots, socles, trépieds, supports ou tables spécifiés par le fabricant ou vendus avec l'appareil. Si un chariot est utilisé, faites attention à ne pas être blessé par un renversement lors du déplacement de l'ensemble chariot/appareil.



13 Débranchez cet appareil en cas d'orage ou de non utilisation prolongée.
14 Confiez toute réparation à des techniciens de maintenance qualifiés. Une réparation est nécessaire si l'appareil a été endommagé d'une quelconque façon, par exemple si le cordon ou la fiche d'alimentation est endommagé, si du liquide a été renversé sur l'appareil ou si des objets sont tombés dedans, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, s'il ne fonctionne pas normalement, ou s'il est tombé.

- N'exposez pas cet appareil aux gouttes ni aux éclaboussures.
- Ne placez pas d'objet rempli de liquide sur l'appareil, comme par exemple un vase.
- N'installez pas cet appareil dans un espace confiné comme une bibliothèque ou un meuble similaire.
- L'appareil tire un courant nominal de veille de la prise secteur quand son interrupteur POWER ou STANDBY/ON n'est pas en position ON.
- L'appareil doit être placé suffisamment près de la prise de courant pour que vous puissiez à tout moment attraper facilement la fiche du cordon d'alimentation
- La fiche secteur est utilisée comme dispositif de déconnexion et doit donc toujours rester disponible.
- Si le produit utilise des piles/batteries (y compris un pack de batteries ou des piles installées), elles ne doivent pas être exposées au soleil, au feu ou à une chaleur excessive.
- PRÉCAUTION pour les produits qui utilisent des batteries remplaçables au lithium : remplacer une batterie par un modèle incorrect entraîne un risque d'explosion. Remplacez-les uniquement par un type identique ou équivalent.

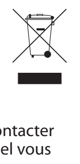
Autres précautions

- Ne l'installez pas dans les types de lieu suivants. Cela pourrait entraîner un mauvais fonctionnement.
  - Lieux sujets à des vibrations significatives ou globalement instables
  - Près de fenêtres ou en exposition directe au soleil
  - Près de chauffages ou dans des lieux extrêmement chauds
  - Lieux extrêmement froids
  - Lieux mal ventilés ou très humides
  - Lieux très poussiéreux
- Évitez d'installer cette unité au-dessus d'un dispositif électrique produisant de la chaleur comme un amplificateur de puissance.
- L'unité ne doit pas être mouillée.
- Si l'unité est déplacée d'un endroit froid à un endroit chaud, ou utilisée après un changement soudain de température, il existe un risque de condensation ; la vapeur de l'air peut se condenser sur le mécanisme interne, empêchant le bon fonctionnement. Pour empêcher cela ou si cela se produit, laissez l'unité une ou deux heures à la température de la nouvelle pièce avant de l'utiliser.
- Si vous rencontrez des problèmes avec ce produit, contactez TEAC pour une assistance technique. N'utilisez pas le produit tant qu'il n'a pas été réparé.

■ Pour les consommateurs européens

Mise au rebut des équipements électriques et électroniques

(a) Tout équipement électrique et électronique doit être traité séparément de la collecte municipale d'ordures ménagères dans des points de collecte désignés par le gouvernement ou les autorités locales.
(b) En vous débarrassant correctement des équipements électriques et électroniques, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine et l'environnement.
(c) Le traitement incorrect des déchets d'équipements électriques et électroniques peut avoir des effets graves sur l'environnement et la santé humaine en raison de la présence de substances dangereuses dans les équipements.
(d) Le symbole de déchets d'équipements électriques et électroniques (DEEE), qui représente une poubelle sur roues barrée d'une croix, indique que l'équipement électrique et électronique doit être collecté et traité séparément des déchets ménagers.



(e) Des systèmes de retour et de collecte sont disponibles pour l'utilisateur final. Pour des informations plus détaillées sur la mise au rebut des vieux équipements électriques et électroniques, veuillez contacter votre mairie, le service d'ordures ménagères ou le magasin dans lequel vous avez acquis l'équipement.

Vue d'ensemble des caractéristiques

- Cette unité est un microphone stéréo qui fonctionne sur alimentation PIP (« Plug-In Power »).
- En utilisant une paire de microphones stéréo avec un agencement X-Y, qui est celui employé par de nombreux enregistreurs PCM linéaires TASCAM, vous pouvez faire des enregistrements avec une définition stéréo nette et des déphasages minimes.
- Les capsules de microphone électrostatiques directionnelles à grande sensibilité, dont l'angle peut être réglé, permettent un enregistrement audio de haute qualité.
- Les fonctions optimisant l'enregistrement comprennent un filtre coupe-bas qui réduit le bruit de basse fréquence de la climatisation, du vent et d'autres sons facilement capturés par les microphones, et un sélecteur de sensibilité des microphones.
- L'emploi d'une construction flottante permet de réduire le bruit induit par la manipulation. Elle réduit aussi les bruits mécaniques tels que ceux causés par l'emploi de l'autofocus et de la stabilisation automatique de l'image.
- En plus de pouvoir directement se monter sur un sabot d'appareil photo numérique (aux normes ISO/JIS), une vis d'appareil photo sous le pied de fixation peut également servir à monter l'unité sur un trépied ou un support.

Éléments fournis

Ce produit est livré avec les composants suivants. Ouvrez soigneusement l'emballage pour ne pas endommager l'unité principale. Conservez la boîte et les matériaux d'emballage pour de futurs transports. Si l'une des pièces manque ou semble avoir été endommagée durant le transport, veuillez contacter TASCAM.

- TM-2X 1
- Bonnette en fourrure 1
- Bras d'isolation du bruit 1
- Carte de garantie 1
- Mode d'emploi (ce manuel) 1

Conventions employées dans ce mode d'emploi

Dans ce document, les conventions suivantes sont employées :

- L'appareil photo, la caméra, l'enregistreur ou autre équipement auquel est connectée cette unité est nommé « appareil connecté ».
- Les touches, prises et autres parties de cette unité et des autres appareils sont indiquées en gras comme ceci : **LOW CUT**.
- Des informations supplémentaires sont fournies si besoin est sous les intitulés NOTE et ATTENTION.

NOTE
Ce sont des explications supplémentaires et des descriptions de cas particuliers.

ATTENTION
Ne pas suivre ces instructions peut par exemple entraîner des blessures, des dommages pour l'équipement ou la perte de données enregistrées.

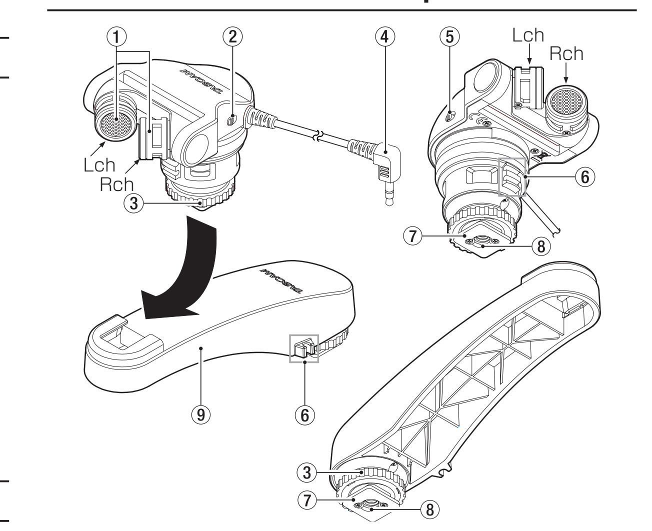
Nettoyage de l'unité

Essuyez l'unité avec un chiffon sec et doux pour la nettoyer. N'utilisez pas de lingettes nettoyantes imbibées de produit chimique, de diluant, d'alcool ou substance similaire pour nettoyer l'unité. Cela pourrait endommager la surface ou causer une décoloration.

Marques commerciales

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Nomenclature et fonctions des parties



① **Paire de micros stéréo (G/D)**
Cette paire stéréo de microphones directionnels électrostatiques (à condensateur électret) est disposée en X-Y. Vous pouvez changer l'orientation de ces microphones intégrés.
② **Sélecteur SENS L/H (sensibilité des micros)**
③ **Molette de verrouillage sur le pied de fixation**
④ **Câble et fiche mini-jack stéréo (Φ 3,5 mm)**
⑤ **Commutateur de filtre coupe-bas (FLAT/LOW CUT)**
Grâce au filtre coupe-bas (position LOW CUT), vous pouvez réduire le bruit de basse fréquence venant de la climatisation, du vent durant les enregistrements en extérieur, des vibrations et d'autres sources.
⑥ **Guide de cordon**
⑦ **Pied de fixation**
⑧ **Filetage de montage sur trépied (1/4 de pouce ou 6,35 mm)**
⑨ **Bras d'isolation du bruit**
En fixant le micro au bras d'isolation du bruit, vous pouvez réduire l'enregistrement du bruit de moteur de l'appareil photo lors de l'autofocus, de la stabilisation automatique d'image et d'autres opérations.

Fixation de l'unité

ATTENTION
- ***Ne soulevez jamais l'appareil connecté en le tenant par cette unité ou par le bras d'isolation du bruit. L'application d'une charge excessive pourrait endommager cette unité ou l'appareil connecté.***
- ***Hors utilisation, démontez cette unité de l'appareil connecté et rangez-la. L'application d'une charge excessive quand ils sont connectés pourrait endommager cette unité ou l'appareil connecté.***

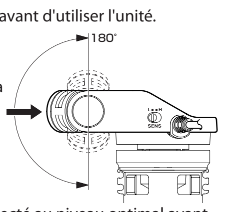
1. Après avoir fait glisser le ⑦ **pied de fixation** de cette unité dans le sabot pour accessoire de l'appareil photo pour le monter, verrouillez-le avec la molette. Si vous utilisez un trépied avec un enregistreur ou autre appareil sans sabot, alignez le filetage de montage sur trépied avec la vis du trépied et montez-le.
2. Branchez la fiche mini-jack stéréo du câble de micro de cette unité à la prise d'entrée micro de l'appareil connecté.

Emploi de l'unité

Faites les réglages suivants en fonction des besoins avant d'utiliser l'unité.

Réglage de l'angle des microphones intégrés

Vous pouvez régler l'angle des microphones intégrés. Choisissez l'angle optimal en fonction de la façon dont cette unité est installée et de la position de la source sonore. La plage de réglage de l'angle des micros est de 180º comme illustré ci-contre.



Réglez la sensibilité du micro

Normalement, réglez le sélecteur ② **SENS L/H** sur **H** et ajustez la sensibilité d'entrée de l'appareil connecté au niveau optimal avant d'utiliser l'unité. En cas de distorsion du son entrant, réglez la sensibilité de l'unité sur **L**. Si la distorsion continue malgré tout, éloignez l'unité de la source sonore.

NOTE
*La pression acoustique maximale en entrée de cette unité varie en fonction des caractéristiques d'entrée de l'appareil connecté. Pour maximiser l'exploitation des caractéristiques de cette unité, réglez la sensibilité comme ci-dessus. En cas de distorsion du son avec le sélecteur ② **SENS L/H** réglé sur **H**, choisir le réglage **L** avant réglage du niveau sur l'appareil connecté peut donner un niveau d'entrée extrêmement bas.*

Emploi du filtre coupe-bas (LOW CUT)

Pour utiliser le filtre coupe-bas, réglez le ⑤ **commutateur de filtre coupe-bas** sur **LOW CUT** sur le côté de l'unité.

NOTE
Comme l'effet du filtre coupe-bas dépend des caractéristiques d'entrée de l'appareil connecté, il variera avec les caractéristiques d'entrée.

Emploi de la bonnette en fourrure

En couvrant le micro avec la bonnette fournie, le bruit causé par le vent, la respiration et les autres contacts directs de l'air avec le micro peut être réduit.

ATTENTION
- ***Toucher cette unité durant l'enregistrement peut entraîner l'enregistrement de bruit.***
- ***Lors d'un enregistrement vidéo, le son des manipulations et des mouvements de l'appareil et de l'objectif peut être enregistré.***
- ***Cette unité peut ne pas fonctionner correctement à proximité d'émetteurs de radio et de télévision, et d'autres équipements générant un fort champ électromagnétique.***
- ***Maintenez toujours fermement l'unité quand vous réglez le filtre coupe-bas, la sensibilité ou l'angle des micros. Sinon, une force excessive pourrait être appliquée au pied de fixation, ce qui endommagerait l'unité.***

Caractéristiques techniques

■ Microphone

Type de microphone : cardioïde
Plage de fréquences : 50 Hz – 20 kHz

■ Entrée et sortie

Niveau d'entrée maximal :	120 dB SPL (à 1 kHz avec la sensibilité réglée sur H et le filtre coupe-bas désactivé (FLAT))*
Impédance de sortie :	1,6 kΩ*
Rapport S/B :	typiquement 74 dB*
Sélecteur de sensibilité micro (SENS) :	H = –37 dB, L = –52 dB (à 1 kHz, 0 dB = 1 V/Pa)*

*RL : 2,2 kΩ, Vcc : 2,5 V

■ Câble/fiche de connexion

Longueur du câble :	33 cm
Fiche :	Mini-jack 3,5 mm 3 points (TRS) stéréo (pointe : canal gauche, anneau : canal droit, manchon : masse)

■ Générales

Alimentation :	PIP (Plug-in power à la norme JEITA CP-1203A)
Dimensions externes (largeur × hauteur × profondeur en mm) :	Unité TM-2X : 57 × 59 × 69 (hors câble/connecteur) Bras d'isolation du bruit : 34 × 57 × 142
Poids:	Unité TM-2X = 75 g Bras d'isolation du bruit = 41 g
Température de fonctionnement :	–5 – +45°C

TASCAM

TM-2X

MICRÓFONO PLUG-IN STEREO

MANUAL DE INSTRUCCIONES

Felicidades y gracias por su compra del micrófono plug-in stereo TASCAM TM-2X.

Antes de conectar y comenzar a usar esta unidad, dedique unos minutos a leer completamente este manual para asegurarse de que entiende cómo conectar y configurar correctamente esta unidad, así como la finalidad de sus distintas funciones. Una vez que haya leído el manual, consérvelo en un lugar seguro para cualquier posible referencia a él en el futuro.

También puede descargarse este Manual de instrucciones desde la página web de TASCAM (http://tascam.com/ ó http://tascam.eu/ para Europa).

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD

1 Lea estas instrucciones.
2 Conserve estas instrucciones.
3 Preste atención a todos los avisos.
4 Siga todo lo indicado en las instrucciones.
5 No utilice este aparato cerca del agua.
6 Limpie este aparato solo con un trapo seco.
7 No bloquee ninguna de las aberturas de ventilación. Instale este aparato de acuerdo con las instrucciones del fabricante.
8 No instale este aparato cerca de fuentes de calor como radiadores, calentadores, hornos o cualquier otro aparato (incluyendo amplificadores) que produzca calor.
9 No anule el sistema de seguridad que supone un enchufe de corriente polarizado o con toma de tierra. Un enchufe polarizado tiene dos bornes de distinta anchura. Uno con toma de tierra tiene dos bornes iguales y una lámina para la conexión a tierra. El borne ancho del primer tipo de enchufe y la lámina del otro se incluyen para su seguridad. Si el enchufe que se incluye con la unidad no encaja en su salida de corriente, haga que un electricista cambie su salida anticuada.
10 Coloque el cable de corriente de forma que no pueda quedar aplastado o retorcido, especialmente allí donde estén los conectores, receptáculos y en el punto en que el cable sale del aparato.
11 Utilice solo accesorios/complementos que hayan sido especificados por el fabricante.
12 Utilice este aparato solo con un bastidor, soporte, trípode o superficie especificado por el fabricante o que se venda con el propio aparato. Cuando utilice un bastidor con ruedas, tenga cuidado al mover la combinación bastidor/aparato para evitar posibles daños en caso de que vuelquen.
13 Desconecte de la corriente este aparato durante las tormentas eléctricas o cuando no lo vaya a usar durante un periodo de tiempo largo.
14 Consulte cualquier posible avería al servicio técnico oficial. Este aparato deberá ser revisado cuando se haya dañado de alguna forma, como por ejemplo si el cable de corriente o el enchufe se ha roto, si se ha derramado cualquier líquido o se ha introducido un objeto dentro de la unidad, si el aparato ha quedado expuesto a la lluvia o la humedad, si no funciona normalmente o si se ha caído al suelo.

- No permita que este aparato quede expuesto a salpicaduras de ningún tipo.
- No coloque objetos que contengan líquidos, como jarrones, encima de este aparato.
- No instale este aparato encastrado en una librería o similar.
- Este aparato recibe corriente nominal no operativa de la salida de corriente AC aun cuando su interruptor POWER o STANDBY/ON no esté en la posición ON.
- El aparato debe estar colocado lo suficientemente cerca de la salida de corriente como para poder acceder al enchufe en cualquier momento.
- Dado que el enchufe de corriente es el dispositivo de desconexión de este aparato, coloque la unidad de forma que siempre pueda acceder a él.
- Si este aparato utiliza pilas (bloque de pilas o pilas individuales instaladas) no deben ser expuestas a niveles de calor excesivos como ocurre si quedan expuestas directamente a la luz solar o sobre un fuego.
- MÁXIMA PRECAUCIÓN para aquellos aparatos que usen baterías de litio recambiables: existe el riesgo de explosión en caso de que sustituya la batería por un tipo incorrecto. Por ese motivo sustitúyalas solo por el mismo tipo de batería o uno equivalente.

Otras precauciones a tener en cuenta

- No instale este aparato en los siguientes tipos de ubicación. El hacerlo puede dar lugar a averías.
  - Lugares sometidos a fuertes vibraciones o inestables en general
  - Cerca de ventanas o en otras ubicaciones en las que pueda quedar expuesto a la luz solar directa
  - Cerca de radiadores o en lugares excesivamente calurosos
  - Lugares extremadamente fríos
  - Lugares con mala ventilación o muy húmedos
  - Lugares con altas concentraciones de polvo
- Evite instalar esta unidad encima de cualquier aparato eléctrico que genere calor, como puede ser una etapa de potencia.
- No permita que esta unidad se humedezca.
- Si traslada la unidad de un lugar frío a uno cálido o si la usa después de un cambio fuerte de temperatura, puede producirse condensación de agua. Para evitar esto o si se produce la condensación, deje la unidad durante una o dos horas en la nueva ubicación antes de volver a encenderla.
- Si observa cualquier tipo de problema al usar este aparato, póngase en contacto con TEAC para una posible reparación. No utilice de nuevo este aparato hasta que no haya sido revisado o reparado.

■ Para los usuarios europeos

Eliminación de aparatos eléctricos y electrónicos

(a) Nunca debe eliminar un aparato eléctrico o electrónico junto con el resto de la basura orgánica. Este tipo de aparatos deben ser depositados en los "puntos limpios" creados a tal efecto por su Ayuntamiento o por la empresa de limpieza local.
(b) Con la correcta eliminación de los aparatos eléctricos y electrónicos estará ayudando a ahorrar valiosos recursos y evitará a la vez todos los efectos negativos potenciales tanto para la salud como para el entorno.
(c) Una eliminación incorrecta de este tipo de aparatos junto con la basura orgánica puede producir efectos graves en el medio ambiente y en la salud a causa de la presencia de sustancias potencialmente peligrosas que pueden contener.
(d) El símbolo del cubo de basura tachado indica la obligación de separar los aparatos eléctricos y electrónicos del resto de basura orgánica a la hora de eliminarlos.
(e) Los llamados "puntos limpios" de recogida y retirada selectiva de este tipo de productos están disponibles para cualquier usuario final. Para más información acerca de la eliminación de este tipo de elementos, póngase en contacto con el departamento correspondiente de su Ayuntamiento, empresa de limpieza o recogida de basuras o con el comercio en el que adquirió este aparato.

Resumen de las características

- Esta unidad es un micrófono stereo que funciona con plug-in power.
- Usando un par de micrófonos stereo en una distribución X-Y, que es la misma usada por muchas grabadoras PCM lineares TASCAM, podrá realizar grabaciones con una total definición stereo y mínimas diferencias de fase.
- Las cápsulas de micro condensador direccionales de alta sensibilidad, cuyos ángulos pueden ser ajustados, permiten una grabación audio de alta calidad.
- Entre otras funciones que permiten una grabación óptima se incluye un filtro de corte de graves que reduce el ruido de bajas frecuencias de sistemas de aire acondicionado, viento y otros sonidos que pueden ser fácilmente captados por el micro, así como también un interruptor de sensibilidad del micrófono.
- Hemos usado una construcción flotante para reducir los ruidos captados por el contacto con el micro. Esto también reduce los ruidos mecánicos como aquellos producidos por el uso de la estabilización de imagen automática y el auto-foco.
- Además de poder ser fijado directamente a una zapata para cámara digital (que cumpla con los standards ISO/JIS), también puede usar un tornillo de cámara colocado en la parte inferior de la pata de fijación de cara a sujetar esta unidad a un trípode o soporte.

Elementos incluidos

Dentro del embalaje encontrará lo siguiente. Tenga cuidado de no dañar estos objetos al abrir el embalaje. Conserve el embalaje y las protecciones por si alguna vez necesita transportar el aparato. Si echa en falta alguno de los elementos siguientes o si observa que alguno de ellos ha resultado dañado durante el transporte, póngase en contacto con TASCAM.

- TM-2X 1
- Cortavientos de peluche 1
- Brazo de aislamiento de ruidos 1
- Tarjeta de garantía 1
- Manual de instrucciones (este documento) 1

Acerca de este manual

En este manual usamos los siguientes convencionalismos:

- Haremos referencia a la cámara, grabadora u otro aparato al que esté conectada esta unidad como el "dispositivo conectado".
- Los nombres de los botones, controles, etc. de este aparato, así como los de dispositivos exteriores, aparecerán en este formato: **LOW CUT**.
- Además también encontrará información adicional en los siguientes formatos.

NOTA

Son explicaciones sobre actuaciones para casos concretos.

CUIDADO

Esto le advierte que puede dañar el equipo o perder datos si no sigue las instrucciones.

Limpieza de la unidad

Para limpiar la unidad, utilice un trapo suave y seco. No use gasolina, alcohol u otros productos similares ya que podría dañar su superficie.

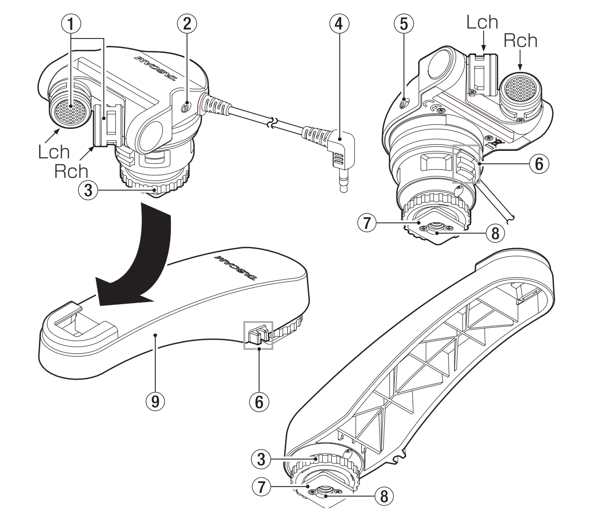
Derechos de propiedad intelectual

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Registro de usuario

Aquellos que hayan adquirido este aparato en los EE.UU., deberán acceder a la web de TASCAM (http://tascam.com/) para registrarse como usuarios online.

Nombres y funciones de las partes



① **Par de micros stereo (L/R)**
Este par stereo de micrófonos condensadores electretos direccionales está distribuido en un patrón X-Y, si bien puede cambiar su orientación.

② **Interruptor SENS L/H (sensibilidad del micro)**

③ **Rosca de colocación de la pata**

④ **Cable y conector mini stereo (Φ3.5 mm)**

⑤ **Interruptor de filtro de corte de graves (FLAT/LOW CUT)**
Por medio de este filtro de corte de graves podrá reducir el ruido de bajas frecuencias de equipos de aire acondicionado, el viento en grabaciones en exteriores, vibraciones y otras fuentes de ruidos molestos.

⑥ **Pinza para el cable**

⑦ **Placa de fijación**

⑧ **Rosca para montaje en trípode (6,3 mm)**

⑨ **Brazo de aislamiento de ruidos**
Si coloca el micro en este brazo incluido podrá reducir la grabación del ruido de motor de la cámara en los proceso de auto-foco, estabilización automática de imagen y otros procesos.

Fijación de esta unidad

CUIDADO

- ***Nunca suba el dispositivo conectado tirando de esta unidad o del brazo de aislamiento de ruidos. El someterlos a una carga excesiva puede producir daños tanto en esta unidad como en el dispositivo conectado.***
- ***Cuando no la esté usando, desconecte esta unidad del dispositivo conectado y guárdela. El ejercer una carga excesiva mientras esta unidad está conectada puede producir daños tanto en esta unidad como en el dispositivo conectado.***

1. Tras deslizar la ⑦ **placa de fijación** de esta unidad en la zapata accesoria de la cámara para fijarla, gire la rosca para que quede fija en su sitio. Cuando utilice un trípode con una grabadora u otro dispositivo que no disponga de una zapata, alinee la rosca para montaje en trípode con el tornillo de este y asegúrelo en la posición.
2. Conecte la clavija mini stereo del cable de micro de esta unidad a la toma de entrada de micro del dispositivo conectado.

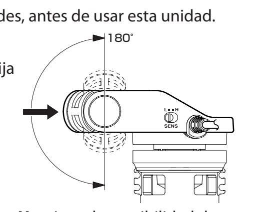
Uso de esta unidad

Realice los siguientes ajustes, según sus necesidades, antes de usar esta unidad.

Ajuste del ángulo de los micros internos

Puede ajustar el ángulo de los micros internos. Elija la orientación óptima de acuerdo a la forma en la que esté instalada esta unidad y la posición de la fuente de sonido.

El rango de ajuste del ángulo de los micros es de 180º, tal como le mostramos a la derecha.



Ajuste de la sensibilidad del micro

Habitualmente, deje el ② **Interruptor SENS L/H** en **H** y ajuste la sensibilidad de entrada del dispositivo conectado al nivel óptimo antes de usar esta unidad. Si el sonido de entrada distorsiona, ajuste la sensibilidad de esta unidad a **L**. Si la distorsión persiste incluso después de hacer esto, aleje esta unidad de la fuente del sonido.

NOTA

Dependiendo de las especificaciones de entrada del dispositivo conectado, las características de la presión de sonido de entrada máximo de esta unidad variarán. De cara a maximizar el uso de las características de entrada de esta unidad, siga los pasos anteriores para ajustar la sensibilidad. Si el sonido distorsiona cuando el ② Interruptor SENS L/H esté ajustado a H, el cambiar el ajuste a L antes de reajustar el nivel en el dispositivo conectado puede hacer que el nivel de entrada sea extremadamente bajo.

Uso del filtro de corte de graves

Para usar este filtro, ajuste el ⑤ **Interruptor de filtro de corte de graves** del panel lateral de esta unidad a **LOW CUT**.

NOTA

Dado que el efecto del filtro de corte de graves depende de las especificaciones de entrada del dispositivo conectado, dicho efecto variará conforme cambie las especificaciones de entrada.

Uso del cortavientos de peluche

Cubra el micro con el cortavientos de peluche incluido para reducir el ruido producido por el viento, respiración y otros contactos de aire directos.

CUIDADO

- ***El tocar esta unidad durante la grabación puede hacer que se graben ruidos.***
- ***En la grabación de video, el sonido del movimiento de las cámaras y las lentes al ser usadas, por ejemplo, también puede ser grabado.***
- ***Es posible que esta unidad no funcione correctamente cerca de torres de transmisión de televisión o radio u otros dispositivos que generen fuertes campos electromagnéticos.***
- ***Cuando ajuste el interruptor de filtro de corte de graves, el de sensibilidad de micro o el ángulo de estos, sujete firmemente esta unidad en su posición. El no hacer esto puede producir que sea aplicada una excesiva fuerza sobre la pata de fijación, lo que podría dañar la unidad.***

Especificaciones técnicas

■ Micrófono

Tipo de micro: cardioide

Rango de frecuencia: 50 Hz – 20 kHz

■ Entrada y salida

Nivel de entrada máximo:	120 dB SPL (a 1 kHz con sensibilidad ajustada a H y filtro de corte de graves en FLAT)*
Impedancia de salida:	1.6 kΩ*
Relación señal-ruido:	74 dB típica*
Sensibilidad de micro (SENS):	H = –37 dB, L = –52 dB (a 1 kHz, 0 dB = 1 V/Pa)*

*RL: 2.2 kΩ, Vcc: 2.5 V

■ Cable/conector

Longitud de cable:	33 cm
Conector:	Clavija mini stereo TRS de 3.5 mm (1/8 in.) (Punta: canal izquierdo, anillo: canal derecho, lateral: masa)

■ General

Alimentación: Plug-in power (JEITA standard CP-1203A)

Dimensiones exteriores (anchura × altura × profundidad en mm):
Unidad TM-2X: 57 × 59 × 69 (sin cable y conector)
Brazo de aislamiento de ruidos: 34 × 57 × 142

Peso: Unidad TM-2X = 75 g
Brazo de aislamiento de ruidos = 41 g

Temperatura de funcionamiento: –5 – +45° C

TASCAM

TM-2X

Stereo-Mikrofon für Digitalkameras

Gebrauchsanweisung

Vielen Dank, dass Sie sich für das Stereomikrofon TM-2X von Tascam entschieden haben.

Bevor Sie das Produkt anschließen und benutzen, empfehlen wir Ihnen, diese Gebrauchsanweisung aufmerksam durchzulesen. Nur so ist sichergestellt, dass Sie verstehen, wie man es ordnungsgemäß anschließt und bedient. Heben Sie dieses Handbuch nach dem Durchlesen gut auf, weil es zum Gerät gehört. Außerdem können Sie so bei künftigen Fragen jederzeit darauf zurückgreifen.

Eine digitale Version steht auf unserer Website (http://tascam.de/) zum Download bereit.

Wichtige Hinweise für Ihre Sicherheit

- Diese Anleitung ist Teil des Geräts. Bewahren Sie sie gut auf und geben Sie das Gerät nur mit dieser Anleitung weiter.
- Lesen Sie diese Anleitung, um das Gerät fehlerfrei nutzen zu können und sich vor eventuellen Restgefahren zu schützen.
- Beachten Sie alle Warnhinweise. Neben den hier aufgeführten allgemeinen Sicherheitshinweisen sind möglicherweise weitere Warnungen an entsprechenden Stellen dieses Handbuchs aufgeführt.
- Lassen Sie Wartungsarbeiten und Reparaturen nur von einem Tascam-Servicecenter ausführen. Bringen Sie das Gerät zu einem Tascam-Servicecenter, wenn es Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt war, wenn Flüssigkeit oder Fremdkörper hinein gelangt sind, wenn es heruntergefallen ist oder nicht normal funktioniert oder wenn das Netzkabel beschädigt ist. Benutzen Sie das Gerät nicht mehr, bis es repariert wurde.

Bestimmungsgemäße Verwendung

Benutzen Sie das Gerät nur zu dem Zweck und auf die Weise, wie in dieser Anleitung beschrieben.

WARNUNG

Schutz vor Sach- und Personenschäden durch Kurzschluss oder Brand

- Öffnen Sie nicht das Gehäuse.
- Verwenden Sie nur den mitgelieferten oder vom Hersteller empfohlene Wechselstromadapter. Verwenden Sie den Wechselstromadapter nicht mit anderen Geräten.
- Wenn das Gerät raucht oder einen ungewöhnlichen Geruch verströmt, trennen Sie es sofort vom Stromnetz und bringen Sie es zu einem Tascam-Servicecenter.
- Stellen Sie das Gerät immer so auf, dass es nicht nass werden kann. Setzen Sie das Gerät niemals Regen, hoher Luftfeuchte oder anderen Flüssigkeiten aus.
- Stellen Sie keine mit Flüssigkeit gefüllten Behälter (Vasen, Kaffeetassen usw.) auf das Gerät.
- Reinigen Sie das Gerät nur mit einem trockenen Tuch.

Schutz vor Sach- und Personenschäden durch falsches Zubehör

- Verwenden Sie nur Zubehör oder Zubehörteile, die der Hersteller empfiehlt.
- Verwenden Sie nur Wagen, Ständer, Stative, Halter oder Tische, die vom Hersteller empfohlen oder mit dem Gerät verkauft werden.

Ergänzende Sicherheitshinweise zur Aufstellung

- Stellen Sie das Gerät nicht an den im Folgenden bezeichneten Orten auf. Andernfalls kann es zu Fehlfunktionen kommen.
  - Orte, die starken Erschütterungen ausgesetzt sind oder die instabil sind,
  - Orte mit direkter Sonneneinstrahlung (z. B. an ein Fenster),
  - in der Nähe von Heizgeräten oder an anderen Orten, an denen hohe Temperaturen herrschen,
  - wenn die Temperatur unter dem Gefrierpunkt liegt,
  - Orte mit schlechter Belüftung oder hoher Luftfeuchte,
  - Orte mit hoher Staubkonzentration.
- Stellen oder legen Sie keine Gegenstände auf das Gerät, damit die Wärmeabfuhr gewährleistet ist.
- Stellen Sie das Gerät nicht auf einen Leistungsverstärker oder andere Geräte, die Wärme abgeben.
- Wenn Sie das Gerät aus einer kalten Umgebung in eine warme Umgebung bringen, in einem schnell beheizbaren Raum einsetzen oder anderen plötzlichen Temperaturschwankungen aussetzen, besteht die Gefahr, dass sich Kondenswasser bildet. Um dies zu vermeiden, lassen Sie das Gerät ein bis zwei Stunden stehen, bevor Sie es einschalten.

Angaben zur Entsorgung

Entsorgung von Altgeräten

Wenn ein Symbol einer durchgestrichenen Mülltonne auf einem Produkt, der Verpackung und/oder der begleitenden Dokumentation angebracht ist, unterliegt dieses Produkt den europäischen Richtlinien 2002/96/EC und/oder 2006/66/EC sowie nationalen Gesetzen zur Umsetzung dieser Richtlinien.

Richtlinien und Gesetze schreiben vor, dass Elektro- und Elektronik-Altgeräte nicht in den Hausmüll (Restmüll) gelangen dürfen. Um die fachgerechte Entsorgung, Aufbereitung und Wiederverwertung sicherzustellen, sind Sie verpflichtet, Altgeräte über staatlich dafür vorgesehene Stellen zu entsorgen.

Durch die ordnungsgemäße Entsorgung solcher Geräte leisten Sie einen Beitrag zur Einsparung wertvoller Rohstoffe und verhindern potenziell schädliche Auswirkungen auf die menschliche Gesundheit und die Umwelt, die durch falsche Abfallentsorgung entstehen können. Die Entsorgung ist für Sie kostenlos.

Weitere Informationen zur Wertstoffsammlung und Wiederverwertung von Altgeräten erhalten Sie bei Ihrer Stadtverwaltung, dem für Sie zuständigen Abfallentsorgungsunternehmen oder der Verkaufsstelle, bei der Sie das Produkt erworben haben.

Produktmerkmale

- Diese Stereomikrofon nutzt die Stromversorgung für Kleinmikrofone, die von vielen Geräten bereitgestellt wird.
- Ein Stereomikrofon in XY-Anordnung, das auch in vielen anderen Linear-PCM-Recordern von Tascam eingesetzt wird, ist eine gute Basis für besonders sauberen Stereoklang und minimale Phasenverschiebungen.
- Die beiden hochempfindlichen, gerichteten Kondensator-Mikrofonkapseln sind verstellbar und ermöglichen Ihnen Audioaufnahmen in hervorragender Qualität.
- Ein schaltbares Trittschallfilter erlaubt es, tieffrequente Geräusche von Klimaanlagen, Wind oder anderen Quellen, die von einem Mikrofon leicht erfasst werden, zu verringern. Zudem ist die Eingangsempfindlichkeit umschaltbar, so dass sich laute wie leise Quellen gleichermaßen gut aufnehmen lassen.
- Die schwebende Aufhängung der Mikrofonkapseln vermindert Handhabungsgeräusche. Dadurch werden auch andere mechanische Geräusche reduziert, die etwa vom Autofokus oder der automatischen Bildstabilisierung ausgehen.
- Neben der Befestigung auf dem ISO-Blitzschuh der Kamera haben Sie auch die Möglichkeit, das Mikrofon mithilfe des Gewindes auf der Unterseite auf einem Tisch- oder Mikrofonstativ zu befestigen.

Auspacken/Lieferumfang

Zum Lieferumfang dieses Produkts gehören die unten aufgeführten Bestandteile. Achten Sie beim Öffnen der Verpackung darauf, dass Sie nichts beschädigen. Bewahren Sie das Verpackungsmaterial für einen eventuellen Transport auf. Sollte etwas fehlen oder auf dem Transport beschädigt worden sein, wenden Sie sich bitte an Ihren Händler.

- TM-2X 1
- Fell-Windschutz 1
- Geräuschdämpfungsarm 1
- Garantiekarte 1
- Gebrauchsanweisung (dieses Dokument) 1

Hinweise zur Benutzung dieser Anleitung

In diesem Dokument verwenden wir die folgenden Schriftbilder und Schreibweisen:

- Die Bedienelemente und Anschlüsse dieses Produkts kennzeichnen wir wie folgt mit fett gesetzten Großbuchstaben. Beispiel: **LOW CUT**.
- Ergänzende Informationen oder wichtige Hinweise kennzeichnen wir wie folgt:

Anmerkung

Hierunter finden Sie ergänzende Erklärungen und Hinweise zu besonderen Situationen.

Wichtig

Besonderheiten, die bei Nichtbeachtung zu Funktionsstörungen oder unerwartetem Verhalten des Geräts führen können.

VORSICHT

Wenn Sie so gekennzeichnete Hinweise nicht beachten, besteht die Gefahr von leichten Verletzungen oder Sachschäden.

Das Produkt reinigen

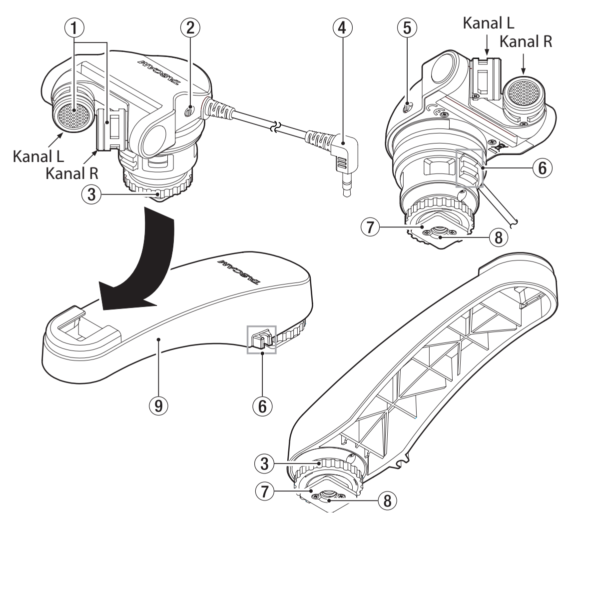
Verwenden Sie zum Reinigen des Produkts ein weiches Tuch. Reinigen Sie es nicht mit Mitteln auf chemischer Basis, Verdünner, Nagellackentferner, Alkohol oder ähnlichen Substanzen. Diese können die Oberfläche des Geräts angreifen oder Farbveränderungen hervorrufen.

Informationen zum Markenrecht

Die folgenden Informationen werden aus rechtlichen Gründen im Originaltext wiedergegeben.

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Die Produktbestandteile und ihre Funktionen



① **Mikrofonkapseln (L/R)**
Diese beiden gerichteten Elektret-Kondensatormikrofone sind in XY-Anordnung angebracht. Die Ausrichtung des Mikrofonpaars können Sie ändern.

② **SENS L/H-Schalter (Mikrofon-Empfindlichkeit niedrig/hoch)**

③ **Rändelschraube zur Befestigung auf dem Blitzschuh**

④ **Kabel mit Miniklinkenstecker (3,5 mm)**

⑤ **FLAT/LOW CUT-Schalter (Trittschallfilter: linear, Tiefenabsenkung)**
Das Trittschallfilter kann neben seinem eigentlichen Zweck auch verwendet werden, um störende Windgeräusche von Klimageräten und bei Außenaufnahmen sowie Vibrationen oder andere tieffrequente Störungen zu unterdrücken.

⑥ **Kabelhalter**

⑦ **Befestigungsfuß**

⑧ **Stativgewinde (¼ Zoll)**

⑨ **Geräuschdämpfungsarm**
Indem Sie das Mikrofon auf diesem Arm montieren, sorgen Sie dafür, dass beispielsweise Motorgeräusche, die vom Autofokus oder der automatischen Bildstabilisierung der Kamera ausgehen, weniger laut aufgenommen werden.

Das Mikrofon befestigen

VORSICHT

- ***Heben Sie niemals das mit dem Mikrofon verbundene Gerät hoch, indem Sie es am Mikrofon oder dem Arm festhalten. Andernfalls könnten das Mikrofon oder die verbundenen Geräte durch zu hohe Krafteinwirkung beschädigt werden.***
- ***Aus dem gleichen Grund sollten Sie das Mikrofon vom Gerät trennen und separat aufbewahren, wenn Sie es nicht benutzen.***

1. Schieben Sie das Mikrofon mit seinem Befestigungsfuß ⑦ auf den Blitzschuh der Kamera, und befestigen Sie es mit der Rändelschraube. Wenn Sie ein Stativ mit einem Recorder oder ein anderes Gerät verwenden, das keinen Blitzschuh hat, befestigen Sie das Mikrofon mithilfe des Stativgewindes ⑧.
2. Stecken Sie den Stereo-Miniklinkenstecker des Mikrofons ④ in den Mikrofoneingang des verbundenen Geräts.

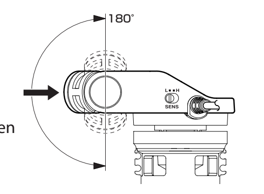
Das Mikrofon nutzen

Bevor Sie mit der Aufnahme beginnen, nehmen Sie die folgenden Einstellungen vor:

Das Mikrofon ausrichten

Sie können die Achse des Stereomikrofons auf die Schallquelle ausrichten. Wählen Sie je nach Ausrichtung des Geräts und Richtung der Schallquelle den geeigneten Winkel.

Die Mikrofonachse ist um 180° schwenkbar. Richten Sie die Markierung auf die Schallquelle aus (siehe Abbildung).



Die Mikrofonempfindlichkeit wählen

Normalerweise sollten Sie vor der Aufnahme den Schalter **SENS L/H** ② auf **H** stellen und den Eingangspegel am verbundenen Gerät entsprechend anpassen. Sollte das Eingangssignal verzerren, wählen Sie stattdessen die Einstellung **L**. Falls das Signal auch dann noch verzerrt, vergrößern Sie den Abstand zur Schallquelle.

Anmerkung

Der maximal zu verarbeitende Schallpegel dieses Mikrofons ist abhängig von den Eingangsspezifikationen des verbundenen Geräts. Um die Eingangseigenschaften des Mikrofons umfassend nutzen zu können, stellen Sie die Empfindlichkeit zunächst wie oben beschrieben ein. Wenn das Eingangssignal in Stellung H des Schalters ② SENS L/H verzerrt, bevor Sie den Pegel am verbundenen Gerät angepasst haben und dann auf die Stellung L umschalten, ist der Eingangspegel möglicherweise extrem niedrig.

Das Trittschallfilter nutzen

Um das Trittschallfilter zu nutzen, stellen Sie den seitlichen Schalter ⑤ auf **LOW CUT**.

Anmerkung

Die Wirkung des Trittschallfilters ist abhängig von den Eingangsspezifikationen des verbundenen Geräts. Ändern sich diese, so ändert sich auch die Wirkung des Trittschallfilters.

Den Fell-Windschutz nutzen

Indem Sie das Mikrofon mit dem Fell-Windschutz abdecken, können Sie störende Wind- und andere Nebengeräusche vermindern.

Wichtig

- ***Berühren Sie das Mikrofon nicht während der Aufnahme. Andernfalls werden Geräusche aufgezeichnet.***
- ***Bei Videoaufnahmen könnten außerdem Geräusche durch Bewegungen und Bedienung der Kamera und Linsen mit aufgezeichnet werden.***
- ***Das Mikrofon funktioniert möglicherweise nicht erwartungsgemäß, wenn es in der Nähe von Radio- oder Fernsehsendern oder anderen Geräten betrieben wird, die starke elektromagnetische oder magnetische Felder erzeugen.***
- ***Halten Sie das Mikrofon immer gut fest, wenn Sie die Schalter betätigen oder den Winkel der Mikrofonkapseln verändern wollen. Andernfalls könnten zu starke Kräfte auf den Befestigungsfuß einwirken und das Mikrofon beschädigt werden.***

Technische Daten

■ Mikrofon

Mikrofoncharkteristik: Niere

Frequenzbereich: 50 Hz – 20 kHz

■ Eingang und Ausgang

Maximaler Eingangspegel:	120 dB SPL (1 kHz, Empfindlichkeit: H, Trittschallfilter: FLAT)*
Ausgangsimpedanz:	1.6 kΩ*
Fremdspannungsabstand:	74 dB typisch*
SENS-Wahlschalter (Mikrofon-empfindlichkeit):	H = –37 dB, L = –52 dB (1 kHz, 0 dB = 1 V/Pa)*

*RL: 2,2 kΩ, Vcc: 2,5 V

■ Anschlusskabel

Kabellänge:	33 cm
Stecker:	3,5-mm-Stereo-Miniklinkenstecker (Spitze: linker Kanal, Ring: rechter Kanal, Hülse: Masse)

■ Allgemein

Stromversorgung:	Stromversorgung für Kleinmikrofone (JEITA-Norm CP-1203A)
Abmessungen (B x H x T):	
TM-2X:	57 mm × 59 mm × 69 mm (ohne Kabel/Stecker)
Geräuschdämpfungsarm:	34 mm × 57 mm × 142 mm
Gewicht:	
TM-2X:	75 g
Geräuschdämpfungsarm:	41 g
Betriebstemperaturbereich:	–5 – +45 °C

TASCAM

TM-2X

MICROFONO STEREO PLUG-IN

MANUALE DI ISTRUZIONI

Grazie per aver acquistato il Microfono Stereo Plug-in TASCAM TM-2X .

Prima di collegare e usare l'unità, si prega di leggere questo manuale per essere sicuri di capire come impostare correttamente e collegare l'unità, così come il funzionamento delle sue molte funzioni utili. Dopo aver terminato la lettura di questo manuale, si prega di conservarlo in un luogo sicuro per future consultazioni.

È possibile scaricare il manuale di istruzioni anche dal sito TASCAM (http://tascam.com/ o http://tascam.eu/ per l'Europa).

IMPORTANTI ISTRUZIONI DI SICUREZZA

1 Leggere le seguenti istruzioni.
2 Conservare queste istruzioni.
3 Prestare attenzione agli avvertimenti.
4 Seguire tutte le istruzioni.
5 Non usare l'apparecchio vicino all'acqua.
6 Pulire solo con un panno asciutto.
7 Non bloccare le aperture per la ventilazione. Installare secondo le istruzioni del costruttore.
8 Non installare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori, regolatori di calore, stufe o altri apparecchi che producono calore (inclusi gli amplificatori).
9 Non eliminare la spina polarizzata di sicurezza o la spina di messa a terra. La spina polarizzata ha due lame, una più larga dell'altra. Una spina di messa a terra ha due lame e una terza punta di messa terra. La lama larga o la terza punta sono fornite per la vostra sicurezza. Se la spina fornita non è adatta al tipo di presa, consultate un elettricista per sostituire la presa obsoleta.
10 Non calpestare o strattonare il cordone di alimentazione, in modo particolare vicino alla spina e alla presa a cui è collegato l'apparecchio e dal punto in cui esce dall'apparecchio.
11 Usare solamente attacchi/accessori specificati dal costruttore.
12 Usare solo carrello, supporto, treppiede, mensola o tavola specificata dal costruttore o venduto insieme all'apparecchio. Quando viene usato un carrello, prestare attenzione quando si sposta la combinazione carrello/apparato per evitare cadute da sopra.
13 Scollegare questo apparato durante temporali o quando non viene utilizzato per lunghi periodi di tempo.
14 Rivolgersi solo a personale qualificato. La riparazione è richiesta quando l'apparecchio è stato danneggiato in qualunque modo, come nel caso che il cordone dell'alimentazione o la spina siano stati danneggiati, l'apparecchio sia stato esposto a pioggia o umidità, non funzioni correttamente o sia stato lasciato cadere.

- Non esporre questo apparecchio a gocciolamenti o schizzi.
- Non appoggiare alcun contenitore o vaso pieno d'acqua sopra l'apparecchio.
- Non installare questo apparecchio in spazi ristretti come una libreria o ambienti simili..
- Questo apparecchio porta corrente elettrica non operativa dalla presa di rete mentre il suo interruttore POWER o STANDBY/ON non è in posizione ON..
- Questo apparecchio dovrebbe essere collocato sufficientemente vicino alla presa AC in modo da poter facilmente afferrare la spina del cordone di alimentazione in qualsiasi momento.
- La presa di rete è utilizzata come dispositivo di sconnessione e deve rimanere sempre operativa.
- Se il prodotto utilizza batterie (incluso un pacco batterie o batterie installate), non dovrebbero essere esposte alla luce solare, fuoco o calore eccessivo.
- CAUTELA per i prodotti che utilizzano batterie al litio sostituibili: vi è pericolo di esplosione se la batteria viene sostituita con una di tipo scorretto. Sostituire solo con tipo uguale o equivalente.

Altre precauzioni

- Non installare nei seguenti luoghi. In caso contrario, potrebbero verificarsi malfunzionamenti.
  - Luoghi con vibrazioni significative o altrimenti instabili
  - In prossimità di finestre o altri luoghi esposti alla luce diretta del sole
  - In prossimità di termosifoni o altri luoghi estremamente caldi
  - Luoghi estremamente freddi
  - Luoghi con cattiva ventilazione e umidità elevata
  - Luoghi molto polverosi
- Evitare di installare l'unità sopra dispositivi elettrici che generano calore, come amplificatori di potenza.
- Non permettere che l'unità si bagni.
- Se l'unità viene spostata da un luogo freddo a uno caldo o usata dopo un improvviso sbalzo di temperatura, vi è il pericolo di formazione di condensa, il vapore nell'aria potrebbe condensarsi sul meccanismo interno, rendendo le operazioni impossibili. Per prevenire questo o se questo accade, lasciare l'apparecchio per una o due ore alla nuova temperatura ambiente prima dell'uso.
- Se si verificano problemi con questo prodotto, contattare TEAC per un invio al servizio di assistenza. Non usare il prodotto fino a quando non è stato riparato.

■ Per gli utenti europei

Smaltimento di apparecchiature elettriche ed elettroniche

(a) Tutte le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere smaltite separatamente dai rifiuti urbani mediante impianti di raccolta specifici designati dal governo o dalle autorità locali.
(b) Lo smaltimento in modo corretto delle apparecchiature elettriche ed elettroniche contribuisce a risparmiare preziose risorse ed evitare potenziali effetti negativi sulla salute umana e l'ambiente.
(c) Lo smaltimento non corretto di apparecchiature può avere gravi conseguenze sull'ambiente e sulla salute umana come risultato della presenza di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche.
(d) Il simbolo barrato della pattumiera indica che le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere raccolte e smaltite separatamente dai rifiuti domestici .
(e) I sistemi di raccolta sono a disposizione degli utenti finali. Per informazioni più dettagliate sullo smaltimento delle vecchie apparecchiature elettriche ed elettroniche, contattare il comune, il servizio di smaltimento rifiuti o il negozio dove è stato acquistato l'apparecchio.

Panoramica delle funzioni

- Questa unità è un microfono stereo che funziona con alimentazione plug-in.
- Utilizzando una coppia di microfoni stereo in un configurazione XY, la stessa usata da molti registratori PCM lineare TASCAM, è possibile effettuare registrazioni con definizione stereo chiara e differenze di fase minime.
- Le capsule ad alta sensibilità del microfono direzionale a condensatore, con i loro angoli regolabili, permettono la registrazione audio di alta qualità.
- Le funzioni che consentono la registrazione ottimale includono un filtro Low-Cut che riduce il rumore a bassa frequenza di aria condizionata, vento e altri rumori che possono essere facilmente catturati durante la ripresa microfonica e un interruttore di sensibilità del microfono.
- Viene utilizzata una costruzione flottante per ridurre il rumore causato dal contatto. Ciò riduce anche rumori meccanici come quelli causate dal funzionamento dell'autofocus e la stabilizzazione automatica dell'immagine.
- Oltre ad essere direttamente collegabile ad una slitta della fotocamera digitale (che soddisfa gli standard ISO/JIS), una vite da fotocamera sul fondo del piede può essere utilizzata per fissare l'unità anche su un treppiede o un supporto.

Articoli inclusi

Questo prodotto include i seguenti componenti. Aprire il pacchetto con attenzione per evitare danni all'unità principale. Conservare la scatola e altri materiali di imballaggio per il trasporto in futuro. Se una delle parti incluse manca o ha subito dei danni durante il trasporto, si prega di contattare TASCAM.

- TM-2X 1
- Filtro antivento in pelliccia 1
- Braccio di isolamento rumore 1
- Cartolina di garanzia 1
- Manuale di istruzioni (il presente manuale) 1

Convenzioni in questo manuale

In questo manuale, vengono usate le seguenti convenzioni:

- La macchina fotografica, registratore o altro a cui è collegato l'unità è chiamato il "dispositivo collegato".
- Pulsanti, prese e altre parti di questa unità e di altre apparecchiature sono indicati in grassetto in questo modo: **LOW CUT**.
- Ulteriori informazioni vengono fornite, se necessario, come note e cautele.

NOTA

Fornisce spiegazioni aggiuntive e descrivere casi particolari.

CAUTELA

La mancata osservanza di queste istruzioni può causare lesioni, danni alle apparecchiature o la perdita dei dati di registrazione , per esempio.

Pulizia dell'unità

Usare un panno morbido e asciutto per pulire l'unità. Non utilizzare panni trattati chimicamente per la pulizia, solventi, alcol o sostanze simili per pulire l'unità. Ciò potrebbe danneggiare la superficie o causare scolorimenti.

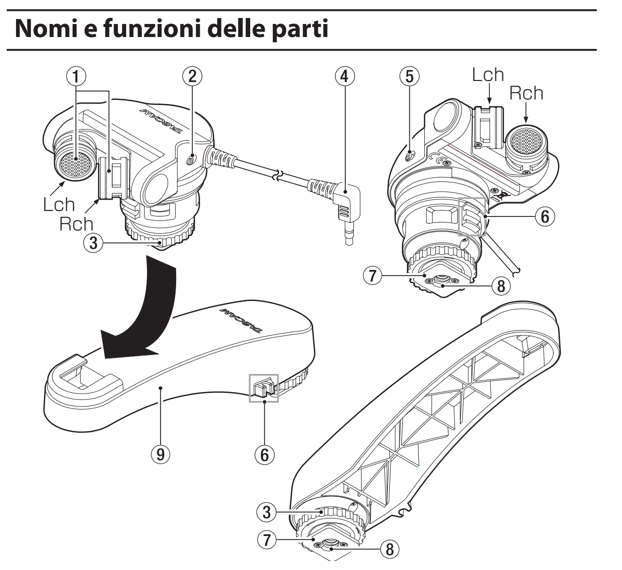
Trademarks

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Registrazione dell'utente

I clienti negli Stati Uniti possono visitare il sito TASCAM (http://tascam.com/) per registrarsi come utenti on-line.

Nomi e funzioni delle parti



① **Coppia di microfoni stereo (L/R)**
Questa coppia di microfoni stereo direzionali a condensatore è configurata in una posizione XY. È possibile modificare l'orientamento di questi microfoni incorporati.

② **Interruttore SENS L/H (sensibilità del microfono)**

③ **Dado di bloccaggio del piede**

④ **Cavo e mini-spina stereo (Φ 3,5 mm)**

⑤ **Interruttore del filtro Low-Cut (FLAT/LOW CUT)**
Usando il filtro Low-Cut è possibile ridurre il rumore a bassa frequenza da aria condizionata, vento durante la registrazione esterna, vibrazioni e altre sorgenti.

⑥ **Supporto del cavo**

⑦ **Piede per attacco**

⑧ **Filettature di montaggio del treppiede (1/4 di pollice)**

⑨ **Braccio di isolamento del rumore**
Usando il braccio di isolamento del rumore in dotazione per collegare il microfono, è possibile ridurre la registrazione del rumore del motore dalla macchina fotografica per l'autofocus, lo stabilizzatore d'immagine automatico e altre operazioni.

Fissaggio dell'unità

CAUTELA

- ***Non sollevare mai il dispositivo collegato tenendo questa unità o il braccio di isolamento acustico. Un carico eccessivo potrebbe danneggiare l'unità o il dispositivo collegato.***
- ***Quando non in uso, scollegare l'unità dal dispositivo collegato e riporla. L'applicazione di un carico eccessivo quando è collegata, potrebbe danneggiare l'unità o il dispositivo collegato.***

1. Dopo aver fatto scorrere il **piede di attacco** ⑦ di questa unità nella slitta della fotocamera, girare il dado per bloccarlo. Quando si utilizza un treppiede con un registratore o un altro dispositivo che non dispone di una slitta porta accessori, allineare la filettatura di montaggio con la vite del treppiede e fissarlo.
2. Collegare la mini-spina stereo del cavo del microfono incorporato alla presa di ingresso microfonica del dispositivo collegato.

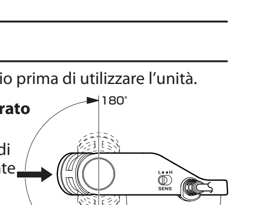
Uso dell'unità

Effettuare le seguenti impostazioni come necessario prima di utilizzare l'unità.

Regolazione dell'angolo del microfono incorporato

È possibile regolare l'angolazione dei microfoni incorporati. Scegliere l'angolo ottimale a seconda di come è installata l'unità e la posizione della sorgente sonora.

L'angolo di regolazione del microfono è di 180 º come mostrato a destra.



Impostare la sensibilità del microfono

Normalmente, impostare l'interruttore ② **SENS L/H** su **H** e regolare la sensibilità di ingresso del dispositivo collegato al livello ottimale prima di usare l'unità. Se il suono in ingresso distorce, impostare la sensibilità di questa unità su **L**. Se la distorsione continua anche dopo questa operazione, spostare l'unità più lontano dalla sorgente sonora.

NOTA

A seconda delle specifiche di ingresso del dispositivo collegato, cambiano le caratteristiche di pressione massima del suono in ingresso all'unità. Per massimizzare l'utilizzo delle caratteristiche di ingresso di questa unità, seguire le procedure di cui sopra per impostare la sensibilità. Se il suono distorce quando l'interruttore ② SENS L/H è impostato su H, cambiando l'impostazione su L prima di regolare il livello sul dispositivo collegato potrebbe causare un eccessivo abbassamento del livello di ingresso.

Uso del filtro Low-Cut

Per utilizzare il filtro Low-Cut, impostare l'interruttore ⑤ **Low-cut** sul lato dell'unità su **LOW CUT**.

NOTA

Poiché l'effetto del filtro Low-Cut dipende dalle specifiche di ingresso del dispositivo collegato, questo cambia se cambiano le specifiche di ingresso.

Uso del filtro antivento

Coprendo il microfono con il filtro antivento incluso, possono venire ridotti i rumori causati dal vento, respiro e altri contatti aerei diretti al microfono.

CAUTELA

- ***Toccando questa unità durante la registrazione, il rumore potrebbe venire registrato.***
- ***Durante la registrazione di video, i rumori provenienti dal movimento delle lenti o da altre operazioni potrebbero venire registrati.***
- ***Questa unità potrebbe non funzionare correttamente in prossimità di torri di trasmissione radiofonica e televisiva e altri apparecchi che generano forti onde elettromagnetiche o campi magnetici.***
- ***Tenere sempre l'unità saldamente in posizione quando si regola l'interruttore del filtro Low-Cut, l'interruttore della sensibilità o l'angolazione del microfono. In caso contrario, un'eccessiva forza applicata al piede di attacco potrebbe danneggiare l'unità.***

Specifiche

■ Microfono

Tipo di microfono: cardioide

Campo di frequenza: 50 Hz – 20 kHz

■ Ingresso e uscita

Massimo livello di ingresso:	120dB SPL (a 1 kHz con la sensibilità impostata su H e il filtro Low-Cut impostato su FLAT)*
Impedenza di uscita:	1.6 kΩ*
Rapporto S/N:	74dB tipico*
Interruttore sensibilità (SENS):	H = –37 dB, L = –52 dB (a 1 kHz, 0 dB = 1 V/Pa)*

*RL: 2.2 kΩ, Vcc: 2.5 V

■ Cavo/spina di collegamento

Lunghezza del cavo:	33 cm
Spina:	mini-spina stereo 3,5 mm TRS (punta: canale sinistro, anello: canale destro, manica: massa)

■ Generali

Alimentazione: alimentazione plug-in (standard JEITA CP-1203A)

Dimensioni esterne (larghezza × altezza × profondità in mm):
unità TM-2X: 57 × 59 × 69 (escluso cavo e connettore)
braccio di isolamento del rumore: 34 × 57 × 142

Peso: unità TM-2X = 75 g
braccio di isolamento del rumore = 41 g

Temperatura di esercizio: –5 – +45°C